

current position on change-^^ player/control-current' position



player/control-current position on change-^^ player/control-current
current position on change-^^ player/control

MORESCO

松村石油研究所 証券コード JASDAQ 5018

第48期 中間事業報告書
(平成17年3月1日～平成17年8月31日)

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃何かとご高配を賜り心から御礼申し上げます。ここに第48期中間期業績の内容をご報告申し上げますとともに、感謝を込めてご挨拶申し上げます。

当年度に入り日本経済が比較的好調裡に推移するなか、自動車、鉄鋼向け需要に支えられて、当社主力製品である潤滑油の売上は堅調な伸びとなりました。流動パラフィン、ホットメルトについても、主要ユーザーの業績好調、新製品の寄与等から、前年度を上回る売上となりました。また、注目を浴びておりますハードディスクの表面潤滑剤については、相次いで世界の主力ディスクメーカーで本格採用となり、大幅に売上を伸ばすことができました。一方、東南アジアや中国市場における売上についても、自動車向け潤滑油を中心に極めて好調裡に推移いたしました。

このように売上が順調に推移する一方で、当社製品の主原料であります石油化学品や潤滑油については厳しい値上げ攻勢が続いているばかりでなく、一部原料は中国における需要急増の影響から極端な品薄状態となり、一時その調達に危ぶまれる事態にも直面いたしました。こうした局面を乗りきるために、鋭意原料調達先との交渉を積み重ねると同時に、製品価格の値上げ、製造コストの削減に最善を尽くし、当期増益を目指して

おります。また、研究開発型企業として、高付加価値製品をスピーディーに開発し、中長期的な収益基盤を固めていくことが何よりも大切と考え、精力的に取り組んでいることは申すに及びません。

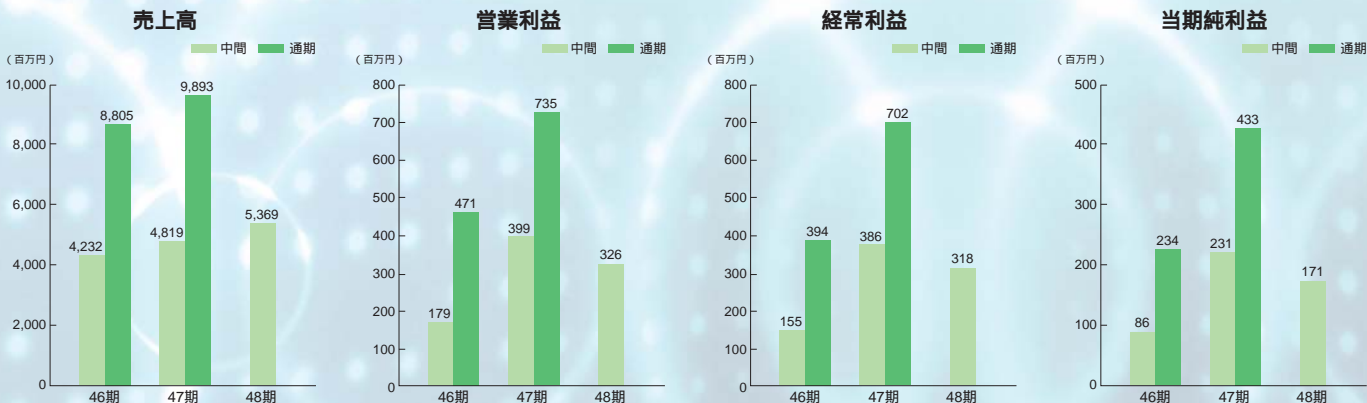
昨年12月の増資ならびに本年4月に実施いたしました株式分割に伴いまして、株主様の数は、昨年度中間期末の361名から当中間期末には1670名へと飛躍的に増加いたしました。これら多くの株主様の負託に応えるため、役員、社員一同これまで以上に気を引き締めて業務に精励して参りたいと思います。株主の皆様におかれましては、引き続き温かいご支援並びにご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長

中野正徳

連結業績ハイライト



営業の概況 Business Review

当中間期におけるわが国経済は、米国及び中国の景気減速が懸念されるなか、輸出や設備投資が牽引役となって企業収益が改善され、個人消費も増加するなど景気は緩やかな回復を辿りました。一方、原油・ナフサ価格の高騰に加えて、需給バランスの悪化による原材料価格の値上げ幅が大きく予想を上回りました。

このような経営環境下、当社業績は引き続き好調な自動車産業を始め、国内需要の回復によって既存製品の売上が総じて伸びまし

た。さらにハードディスク用表面潤滑剤やホットメルト粘着剤などの新規に開発した諸製品の売上が寄与して、売上高は5,369百万円(前年同期比11.4%増)となりました。また、原材料価格上昇によるコストアップを製品価格の改定に加えて、販売数量の増加、生産性向上などの合理化により吸収に努めた結果、経常利益は318百万円(前年同期比17.7%減)、当期純利益は171百万円(前年同期比26.1%減)となりました。

化学品事業

▶ 特殊潤滑油部門

自動車産業に向けた特殊潤滑油を主力とする当部門は、自動車の旺盛な需要に対応した国内外生産増を背景に、難燃性作動液が引き続き好調に推移しました。さらに新規に開発したダイカスト離型剤が海外で売上を伸ばすなど、当部門の売上は前年同期に比べ6.9%増となりました。一方、自動車及び関連産業の本格進出が始まった中国市場において、今後潤滑油の需要増が見込まれる状況となっています。

(売上高2,053百万円)

▶ 素材部門

流動パラフィン、用途の主力であるポリスチレン向けの国内需要が回復したことに加えて、新規顧客の獲得などにより僅かながらシェアを拡大し、売上高は前年同期に比べ11.0%増となりました。

石油スルホネートについては、国内金属加工油メーカーの生産堅調と輸出が好調に推移した結果、売上は前年同期比2.7%増加しました。

(売上高1,099百万円)

▶ 合成潤滑油部門

主として自動車用電装部品のグリース基油となる高温用潤滑油は、欧米の自動車メーカー向けにも拡がりを見せていますが、グリースメーカーの在庫調整などの影響により、売上は前年同期比7.4%減少しました。

一方、全主要メーカーで採用されたハードディスク用表面潤滑剤は、3.5インチにおける80～120GBのハードディスク向けを中心に輸出が拡大し、売上が前年同期比141.9%増と大きく伸びました。

(売上高473百万円)

▶ ホットメルト接着剤部門

衛生材向け製品を主力とする当部門は、大人用紙おむつの輸出が前期に引き続き好調に推移し、売上高は前年同期比12.6%増となりました。

また、衛生材向け製品以外では、ゼロエミッションに貢献するラベル用粘着剤など、高機能を持つ新製品の売上が寄与いたしました。

一方、中国無錫の関連会社との協業を進めるなど、生産性の向上を図りました。(売上高1,149百万円)

賃貸ビル事業

事務所用テナントビル「モレスコ本町ビル」全体を、不動産業者に一棟貸しする形態で運営しています。(売上高32百万円)

連結子会社その他

当社潤滑油ならびに水処理装置の国内販売を行う(株)マツケン、国内景気の回復と企業を取り巻く環境対応規制から、水処理装置の売上が好調に推移し、売上が前年同期比37.1%増となりました。

潤滑油の分析や油圧関連機器を販売する(株)モレスコテクも分析試験の売上が伸び、前年同期比34.1%増となりました。

また、中国の持分法適用関連会社である無錫徳松科技有限公司への原料輸出が伸びました。急成長する中国の自動車産業に向けた特殊潤滑油の原料です。(売上高564百万円)

連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

【中間連結貸借対照表】

区 分	当中間期	前中間期	前期
	(平成17年8月31日現在)	(平成16年8月31日現在)	(平成17年2月28日現在)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
(資産の部)			
流動資産	4,164,245	3,751,792	4,287,691
現金及び預金	259,562	180,185	627,604
受取手形及び売掛金	2,595,952	2,348,486	2,483,592
棚卸資産	1,078,007	969,694	1,013,702
その他	230,723	253,428	162,792
固定資産	4,932,809	4,706,197	4,859,648
有形固定資産	4,192,836	4,069,947	4,162,555
建物及び構築物	1,194,317	1,247,835	1,221,741
機械装置及び運搬具	759,229	699,525	739,345
土地	1,889,200	1,888,696	1,888,864
その他	350,090	233,890	312,606
無形固定資産	22,534	26,000	22,940
投資その他の資産	717,440	610,250	674,153
投資有価証券	367,178	285,867	321,336
その他	350,262	324,383	352,817
資産合計	9,097,054	8,457,988	9,147,339

【中間連結損益計算書】

区 分	当中間期	前中間期	前期
	(平成17年8月31日現在)	(平成16年8月31日現在)	(平成17年2月28日現在)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
売上高	5,368,921	4,818,778	9,893,031
売上原価	3,487,360	2,985,676	6,245,643
販売費及び一般管理費	1,555,642	1,434,452	2,912,488
営業利益	325,919	398,650	734,900
営業外収益	25,598	21,242	39,043
営業外費用	33,961	34,097	72,067
経常利益	317,556	385,795	701,877
特別利益	3,920	—	—
特別損失	—	—	—
税金等調整前中間(当期)純利益	321,476	385,795	701,877
法人税、住民税及び事業税	131,980	196,327	341,765
法人税等調整額	3,257	56,896	92,861
少数株主利益	15,620	15,456	20,424
中間(当期)純利益	170,618	230,908	432,549

区 分	当中間期	前中間期	前期
	(平成17年8月31日現在)	(平成16年8月31日現在)	(平成17年2月28日現在)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
(負債の部)			
流動負債	4,197,703	4,164,589	4,488,221
支払手形及び買掛金	1,971,345	1,487,271	1,732,569
短期借入金	1,353,050	1,500,580	1,514,430
未払法人税等	126,291	191,479	235,356
その他	747,017	985,259	1,005,865
固定負債	1,746,690	2,185,138	1,609,172
長期借入金	396,620	874,270	260,180
退職給付引当金	1,218,744	1,182,691	1,215,263
その他	131,326	128,177	133,728
負債合計	5,944,393	6,349,727	6,097,392
少数株主持分	63,841	41,311	46,501
(資本の部)			
資本金	744,403	376,500	744,403
資本剰余金	532,678	164,775	532,678
利益剰余金	1,797,077	1,525,231	1,726,871
その他有価証券評価差額金	36,781	23,409	29,291
為替換算調整勘定	17,527	20,921	25,206
自己株式	4,593	2,043	4,593
資本合計	3,088,820	2,066,951	3,003,445
負債、少数株主持分及び資本合計	9,097,054	8,457,988	9,147,339

【中間連結キャッシュフロー計算書】

区 分	当中間期	前中間期	前期
	(平成17年8月31日現在)	(平成16年8月31日現在)	(平成17年2月28日現在)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュフロー	291,495	401,588	922,893
投資活動によるキャッシュフロー	242,150	121,892	327,110
財務活動によるキャッシュフロー	418,111	331,256	198,709
現金及び現金同等物の増減額	368,042	49,264	398,156
現金及び現金同等物の期首残高	577,604	179,448	179,448
現金及び現金同等物の中間期末残高	209,562	130,185	577,604

個別財務諸表 Non-Consolidated Financial Statements

【中間個別貸借対照表】

区 分	当中間期	前中間期	前期
	(平成17年8月31日現在)	(平成16年8月31日現在)	(平成17年2月28日現在)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
(資産の部)			
流動資産	3,762,667	3,428,515	3,924,452
現金及び預金	117,933	104,530	525,353
受取手形及び売掛金	2,429,079	2,188,028	2,286,458
棚卸資産	978,760	895,329	927,586
その他	236,895	240,627	185,055
固定資産	4,790,682	4,582,574	4,721,864
有形固定資産	3,982,274	3,855,126	3,948,454
建物及び構築物	1,131,176	1,124,123	1,102,179
機械装置及び運搬具	733,412	670,179	714,643
土地	1,785,110	1,785,110	1,785,110
その他	332,576	275,714	346,521
無形固定資産	14,973	24,413	17,677
投資その他の資産	793,434	703,035	755,733
投資有価証券	233,411	192,578	221,083
その他	560,023	510,457	534,650
資産合計	8,553,349	8,011,089	8,646,316

区 分	当中間期	前中間期	前期
	(平成17年8月31日現在)	(平成16年8月31日現在)	(平成17年2月28日現在)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
(負債の部)			
流動負債	4,080,911	4,046,375	4,363,695
支払手形及び買掛金	1,742,196	1,353,043	1,541,551
短期借入金	510,000	1,160,000	690,000
未払法人税等	85,812	153,893	187,755
その他	1,742,904	1,379,439	1,944,389
固定負債	1,578,351	2,021,171	1,440,755
長期借入金	396,620	874,270	260,180
退職給付引当金	1,069,361	1,041,035	1,070,155
その他	112,369	105,866	110,419
負債合計	5,659,262	6,067,546	5,804,450
(資本の部)			
資本金	744,403	376,500	744,403
資本剰余金	532,678	164,775	532,678
利益剰余金	1,584,893	1,380,669	1,540,114
その他有価証券評価差額金	36,705	23,641	29,264
自己株式	4,593	2,043	4,593
資本合計	2,894,087	1,943,542	2,841,866
負債及び資本合計	8,553,349	8,011,089	8,646,316

Point

(数値は百万円未満四捨五入)

連結貸借対照表

- ・総資産は前期末に比べ50百万円減少しました。
主な内訳は、有利子負債圧縮に向け現金及び預金368百万円減少、増収により売上債権112百万円、棚卸資産64百万円増加、設備投資等による固定資産73百万円増加などによります。
- ・負債合計は153百万円減少しました。
主な内訳は、買掛債務239百万円増加、有利子負債325百万円減少であります。

連結キャッシュフロー計算書

- ・営業活動の結果得られた資金は291百万円で前年同期比110百万円減少しました。
主な要因は税金等調整前純利益が同64百万円減少し、法人税等支払額が同110百万円増加したことによります。資金増加の面では、増収下、仕入債務の増加が売上債権および棚卸資産の増加を上回り54百万円プラスに作用しました。
- ・投資活動の結果使用した資金は242百万円で、これは主に有形固定資産の取得による215百万円と関係会社への出資による27百万円の支出であります。
- ・財務活動の結果減少した資金は418百万円で、これは主に現金及び預金をもって、有利子負債を325百万円返済したことによります。

【中間個別損益計算書】

区 分	当中間期	前中間期	前期
	(平成17年8月31日現在)	(平成16年8月31日現在)	(平成17年2月28日現在)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
売上高	4,672,091	4,227,275	8,696,849
売上原価	3,251,998	2,808,816	5,871,549
販売費及び一般管理費	1,205,028	1,106,380	2,243,646
営業利益	215,065	312,078	581,654
営業外収益	38,616	32,771	44,227
営業外費用	26,893	32,498	70,349
経常利益	226,789	312,350	555,532
特別利益	3,920	—	—
特別損失	—	—	—
税金等調整前中間(当期)純利益	230,709	312,350	555,532
法人税、住民税及び事業税	89,835	157,941	274,148
法人税等調整額	1,131	46,715	79,184
中間(当期)純利益	142,004	201,124	360,569
前期繰越利益	340,345	276,399	276,399
中間未処分(当期)利益	482,350	477,522	636,967

情報関連分野

▶ ハードディスク用表面潤滑剤

ハードディスク用の表面潤滑剤「モレスコホスファロール」は、80GB～120GB / 3.5インチのハードディスクにおいて全大手メーカーで採用されています。さらに160GBまでの適応性が確認されており、今後の高記録密度化に伴った高成長が期待できます。

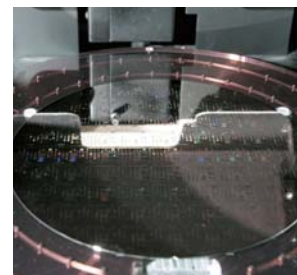
一方、小型ディスクは急激な成長を見せるデジタル家電、携帯電話、カーナビなどの用途に拡がりつつあります。これらへのニーズに対しては世界最高性能の高輝度放射光施設（SPRING-8）の高度な解析技術を利用し、新しい潤滑剤の開発を進めています。



▶ 半導体・磁気記録材料の研磨剤

銅配線の加工用として開発中の砥粒を含まないCMPスラリーは、最終的な実用評価段階に入りました。

また今期、当社のレンズ研磨用クーラントやCMPスラリーの配合技術を応用したハードディスクの表面加工用クーラントを新たに開発し、販売を開始しました。現状はガラス基盤向けですが、引き続きアルミ基盤向けの開発に取り組んでいます。その他、磁気ヘッドの研磨にもダイヤモンド砥粒などを用いた特殊な研磨剤が必要とされており、これらの研磨剤の分野に対して総合的な展開を図っていきます。



環境関連分野

▶ 光触媒や酸化剤、UVを応用した水浄化装置

促進酸化法は紫外線とオゾン、酸化薬剤、光触媒などを組み合わせ、有機物を水と炭酸ガスに分解する処理方法で、従来の方法とは異なり、処理後に二次廃棄物が発生しないクリーンな処理が特長です。当社では、工場の空調ドレン排水の浄化・再利用や、探傷剤による着色排水の処理、などの装置を開発しました。

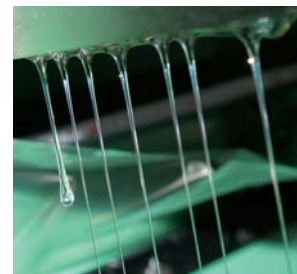
また、光触媒式殺菌装置は光触媒の持つ除菌・殺菌作用を利用し、水中のバクテリア・カビの発生を抑制します。水耕栽培でのモニター評価が終了し、他の地域への拡販を計画しています。



▶ 高機能 ホットメルト粘着剤

紙おむつ向けの接着剤では、包装用の離型紙やダンボール容器が不要な「ネオコート」を開発し、ゼロエミッションに貢献していますが、更に粘着面に離型紙を必要としない「ゴミゼロ」に繋がるラベル用のホットメルト粘着剤を開発しました。

ラベル用途では他に直接印刷面に塗工可能なタイプや、接着温度によって再剥離と接着の2つの機能を併せ持つタイプなど、多様化する粘・接着用途に対応した高機能ホットメルト接着剤の開発を進めています。



会社の概況 (平成17年8月31日現在)

商号	株式会社松村石油研究所
設立	1958年10月27日
資本金	744,403,200円
従業員数	207名
本社・研究センター	神戸市中央区港島南町5丁目5-3 電話 078-303-9010(代表)
支店	東京支店、大阪支店
営業所	小山営業所、名古屋営業所
工場	千葉工場、赤穂工場
役員	取締役社長 中野正徳 常務取締役 谷川友彦 常務取締役 赤田民生 取締役 小西邦彦 取締役 菊池習作 取締役 山地 一 取締役 作田真一 取締役 竹内 隆 取締役 都築忠七 常勤監査役 冨野 武 監査役 松村誠一郎 監査役 小沢史比古

子会社および関連会社 (平成17年8月31日現在)

連結子会社

株式会社マツケン
株式会社モレスコテクノ
株式会社モレスコサービス
MORESCO (Thailand) Co.,Ltd
MORESCO Holding (Thailand) Co.,Ltd.

持分法適用関連会社

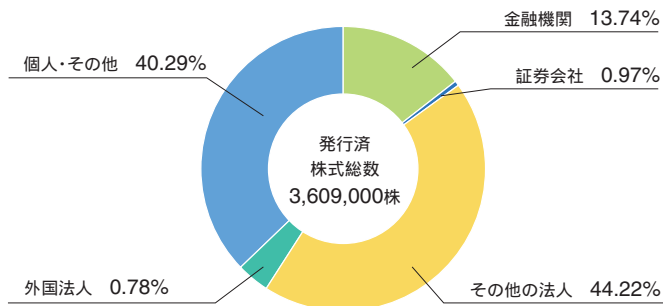
無錫德松科技有限公司

株式の状況 (平成17年8月31日現在)

株式の総数	
会社が発行する株式の総数	10,000,000株
発行済株式総数	3,609,000株
株主数	1,670名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
松村石油株式会社	533.5	14.8
コスモ石油ルブリカンツ株式会社	251.5	7.0
日本曹達株式会社	182.5	5.1
エヌエヌ・ケミカル株式会社	163.5	4.5
三菱商事株式会社	163.5	4.5
株式会社みずほコーポレート銀行	125.0	3.5
株式会社UFJ銀行	125.0	3.5
MORESCO従業員持株会	113.1	3.1
日本興亜損害保険株式会社	110.7	3.1
大阪中小企業投資育成株式会社	104.8	2.9

株式所有者別分布状況



株主メモ

決算期	毎年2月末日
定時株主総会	毎年5月
基準日	毎年2月末日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
配当金受領株主確定日	毎年2月末日および取締役会の決議により中間配当金の支払いを行う場合は8月末日
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問合せ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 なお、株式関係のお手続き用紙のご請求は、 次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも 24時間承っております。 電話(通話料無料)0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部) 三菱UFJ信託銀行ホムページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/ 野村證券株式会社 全国本支店
公告掲載新聞	日本経済新聞に掲載いたします。 なお、決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を 当社ホムページにおいて提供いたしております。

<http://www.moresco.co.jp/>



MORESICO
株式会社 松村石油研究所

